

能 あそび



江戸時代の京文化発信事業

SOICHIRO

あらゆる伝統芸能の基底となっている能楽。そこには、謡、仕舞、装束、囃子…とさまざまな要素が詰まっています。
「能あそび」はさまざまな角度から能楽を「あそぶ」ことで楽しむ講座です。
能楽師によるレクチャーのほか、謡をうたったり、仕舞の型を体験したり…と毎回毎回さまざまな趣向で開催します。
舞台鑑賞だけではみえてこない能楽の魅力をご一緒に発見してみませんか。
各回のテーマや演目にあわせて特別にしつらえたお菓子もお楽しみに。
あそびながら能楽を知って、日本文化のとびらをひらきませんか。

2017年の「能あそび」は、シテ方五流の役者の方々が実演を交えながら語りあうという、
各回、流派を超えたトークと共演をお楽しみいただけます。
きっとどなたにもご興味深く、新しい発見がありそうな、貴重なチャンスです。ぜひお気軽にお越しください。



日程 & ゲスト講師 2017年

- 1月27日 大島輝久 (喜多流シテ方)
- 3月17日 能がたり 復曲『吉備津宮』
／松岡心平 (東京大学教授)
- 5月19日 山井綱雄 (金春流シテ方)
- 7月21日 山田伊純 (金剛流シテ方)
- 9月15日 謡の会『松風』
／有松遼一 (高安流ワキ方)ほか
- 11月13日 和久荘太郎 (宝生流シテ方)

*すべて金曜日

講師：林 宗一郎 (観世流能楽師)

時間：18:30～20:00

会場：有斐斎弘道館(18時より呈茶)

資料費：各3,000円(和菓子・抹茶代込)

各回のテーマや能の演目にあわせて特別にあつらえたお菓子もお楽しみに！



お申し込み・お問い合わせ：

TEL/FAX：075-441-6662

E-mail：kouza@kodo-kan.com

http://kodo-kan.com



主催：公益財団法人有斐斎弘道館

助成：平成28年度文化庁文化遺産を活かした地域活性化事業

2017年の「能あそび」は、シテ方五流の役者の方々をお招きします！
3月には宗一郎先生が手がける復曲『吉備津宮』のお話、9月には謡だけで能を楽しむ「素謡」をお楽しみいただきます。

講師プロフィール



林 宗一郎 はやし そういちろう／観世流シテ方能楽師

1979年10月28日生。3歳、鞍馬天狗 花見役にて初舞台。父 十三世林喜右衛門、及び二十六世観世宗家 観世清和に師事。2012年には独立披露能にて大曲「道成寺」を披く。京都、東京、岡山、鳥取に稽古場を持ち、謡と仕舞の指南にあたる。レクチャーや体験講座などの普及活動も積極的に行う。2013年7月、能楽自主企画公演「宗一郎の会」を発足。平成26年度京都市芸術文化特別奨励者の認定を受ける。
能楽師 林宗一郎公式ホームページ <http://hayashi-soichiro.jp/>

ゲストプロフィール



大島 輝久 おおしま てるひさ／喜多流シテ方

1976年福山市生まれ。祖父久見、父政允に師事し、3歳の時に仕舞「猩々」にて初舞台。以後、数多くの子方を勤める。ポーランド、リトアニア、台湾、オランダ、ベルギー、ベトナム、北欧など海外公演に多数参加。「猩々乱」、「道成寺」、「石橋」を披く。2014年、国総合認定重要無形文化財となる。喜多流の若手として国の内外で活躍中。現在、東京都在住。



山田 伊純 やまだ いすみ／金剛流シテ方

1989年東京生まれ。金剛流能楽師金剛流宗家直門。京都能楽会所属。初舞台は6歳にて能「百萬」の子方を勤める。内弟子修業中より各地方で能楽講座の活動を行う。金剛流宗家金剛永謙のもと5年間の住込み修業を終え2016年に独立を許される。今までの主な開曲は半能「石橋」赤獅子。2017年には「乱」を披く予定。



松岡 心平 まつおか しんぺい／東京大学教授

1954年岡山県生まれ。20歳の時、観世寿夫による仕舞「藤戸」を見て、「地獄がせりあがってくるような」舞台に衝撃を受け、能楽研究の道に入る。著書に『中世芸能講義』、『宴の身体—バサラから世阿弥へ—』などがある。また、廃曲となった能の復曲・上演などの実践的活動にも携わっており、本年5月13日に上演される「吉備津宮」の復曲にも尽力する。



有松 遼一 ありまつ りょういち／高安流ワキ方

1982年東京生まれ。谷田宗二郎師・飯富雅介師に師事。京都能楽会、高安会所属。京都大学文学部卒業、同大学院博士課程(国文学)研究指導認定退学。京都大学・同志社女子大学非常勤講師。京都を中心に、大阪・東京・名古屋・九州・北海道など、数々の舞台に出演。海外公演や子どもたちへのワークショップ・学校公演にも多数参加。大学の講義では能楽や和歌など古典の魅力を伝える。能が現代に生きる芸能・舞台芸術であることを問い続ける。



山井 綱雄 やまい つなお／金春流シテ方

1973年横浜市出身。國學院大学文学部卒。先代79世宗家故金春信高、現80世宗家金春安明、高山禮子に師事。金春流能楽師であった祖父(故梅村平史朗)の影響で5歳での能「柏崎」子方にて初舞台。12歳で初シテ「経政」。以来、「乱」「石橋」「望月」「道成寺」「翁」「正尊」「安宅」等の大曲を披演。2014年、平成26年度文化庁文化交流使に就任。アメリカ、ヨーロッパ、カナダにて能楽の普及に尽力する。



和久 莊太郎 わく そうたろう／宝生流シテ方

1974年生まれ。横浜市生名古屋出身。東京藝術大学音楽学部邦楽科能楽室生流専攻卒。大学在学中、宝生英雄18世宗家の内弟子となる。19歳で「藤栄」で初舞台を踏み、2004年には「小鍛冶」で初シテ(主役)を勤める。2005年、宝生英照19世宗家の許しを得て独立し、自身の同門会「涌宝会(ゆうほうかい)」を発足。以降、「石橋」、「道成寺」、「乱」を披く。東京・名古屋・大阪の定期能、各地の新能に出演するほか、能楽普及のための講演を行っている。

関連講座

江戸時代の〈教養〉を考える

淇園の弘道館にちなみ、江戸時代の教養文化を考える実践講座です。江戸時代の教養である「茶」と「謡」を楽しんでみませんか。

一回ごとの参加も可能です。どうぞお気軽にご参加ください。

【日程】 1月22日 2月5日 3月5日 4月2日 5月7日 6月18日
7月23日 8月6日 9月17日 10月1日 11月12日 12月3日

【時間】 16時30分～19時 *すべて日曜日

【内容】 第一部 16時30分～17時50分
勉強会「茶書をよむ」／濱崎加奈子、太田宗達
第二部 18時～19時
実践「お話をうたってみよう」／林宗一郎、樹下千慧(能楽師)

【参加費】 3,000円 (第一部のみ、第二部の場合は一部2,000円)

*学割あり(2,000円/第一部のみ、第二部のみは1,000円/要学生証提示/25才以下)

*謡の講座では、社寺での奉納も行っています。(過去の例:吉野蔵王堂、竹生島、富士山)

*講座は初心者の方をおもな対象としています。年齢不問、持ち物不要、服装自由です。

大倉源次郎の能楽談義

能楽小鼓方としてご活躍の一方で、談山能やフランス公演など、数多くの能楽企画公演をされてこられた大倉源次郎先生に、お話を伺います。(4/27, 5/11, 6/1, 6/22 すべて木曜日)4回分のお話は本にまとまる予定です。詳しくはお問い合わせください。

会場：有斐斎 弘道館 ゆうひさいこうどうかん

有斐斎弘道館は江戸中期の儒者、皆川淇園の学問所址の数寄屋建築です。2013年に公益財団法人となり、建造物と庭園の維持保存を行うとともに、現代の学問所として日本文化の素晴らしさを伝える活動を行っています。みなさまのご寄付をお願いいたします。



〒602-8006

京都市上京区上長者町通新町東入
元土御門町 524-1

地下鉄烏丸線「丸太町」または「今出川」より徒歩7分
京都駅よりタクシー15分

お申し込み・お問い合わせ：

TEL/FAX：075-441-6662

E-mail：kouza@kodo-kan.com

<http://kodo-kan.com>